

2026
SYLLABUS
[シラバス]

3

中学3年生

CONTENTS

※本冊子中の「TW」は「Topwin」を表します。

学習の流れ

| | | | |
|----|-----------|----|----------|
| 04 | 6年間の学習の流れ | 06 | 年間スケジュール |
|----|-----------|----|----------|

科目別シラバス

| | | | | | |
|----|---------------|----|-----------------------|----|-----------|
| 10 | 英語科カリキュラム | 18 | 数学科カリキュラム | 32 | 国語科カリキュラム |
| 12 | 英語TW α | 20 | 数学TW Booster α | 34 | 国語TW |
| 14 | 英語TW β | 22 | 数学TW Booster β | | |
| 16 | 英語S | 24 | 数学TW α | | |
| | | 26 | 数学TW β | | |
| | | 28 | 数学S α | | |
| | | 30 | 数学S β | | |
| 36 | 受講にあたってのご案内 | | | | |

早稲田アカデミー大学受験部

学習の流れ

- ・ 6年間の学習の流れ
- ・ 年間スケジュール

【6年間の学習の流れ】

(導入:初習 演習:問題演習を交えながら再度学習 入試実戦:過去問演習) ★…一通りの学習が終わるタ

| 科目 | クラス | 中1 | | | 中2 | | | 中3 | | | 高1 | | |
|-----|---------------------------------------|---------------------------------|---|---|------------------------------------|---|------|--------------------------------|------|---|------------------|----------------|--|
| | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | |
| 英語 | TWB→TW・T | All English4技能総合 (英検®準2級レベル) | | | All English4技能総合 (英検®2級～準1級レベル) | | | 高校英文法・4技能導入 (英検®2級～準1級レベル) | | | ★ 高校文法・4技能演習 | | |
| | TW→TW・T | 中学文法導入 (英検®3級～準2級レベル) | | | 中学文法発展演習 (英検®準2級～2級レベル) | | | | | | | | |
| | S→SK <small>※高3のみ Rを開講</small> | 中学文法導入 (英検®4級～3級レベル) | | | 中学文法演習 (英検®3級～準2級レベル) | | | 高校基礎文法・4技能導入 (英検®準2級～2級レベル) | | | 高校文法・4技能導入 | | |
| 数学 | TWBα→TW | 中学内容導入 | | | IA導入 | | II導入 | | | | | IIIC導入 | |
| | TWBβ→TW | | | | | | BC導入 | | | | | ★ IAB演習 | |
| | TWα | 中学内容導入 | | | IA導入 | | II導入 | | | | | IIIC導入 | |
| | TWβ <small>※高3のみ γを開講</small> | | | | | | BC導入 | | | | | ★ IIIABC演習 | |
| | Sα | 中学内容導入 | | | 中学内容演習 | | IA導入 | | II導入 | | SKγへ | | |
| | Sβ | | | | | | | | | | | | |
| | Tα | | | | | | | | | | | II導入 | |
| | Tβ | | | | | | | | | | | IA導入 IIIC導入 | |
| | SKα | | | | | | | | | | | II導入 | |
| | SKβ | | | | | | | | | | | IA導入 | |
| | SKγ | | | | | | | | | | | IIIC導入 | |
| | Rα | | | | | | | | | | | | |
| | Rβ | | | | | | | | | | | | |
| 国語 | TW | 国語教養導入(古文文法・漢文句法導入) | | | | | | ★ 現代思想導入・古文漢文演習 | | | 読解演習(現古漢) | | |
| | T | | | | | | | | | | 古文文法・漢文句法導入 | | |
| | SK <small>※高3のみ Rを開講</small> | | | | | | | | | | 大学入試国語導入(古典文法導入) | | |
| 物理 | TW | | | | | | | | | | | | |
| | SK | | | | | | | | | | | | |
| 化学 | TW | | | | | | | | | | | | |
| | SK | | | | | | | | | | | | |
| 生物 | TW | | | | | | | | | | | | |
| 世界史 | TW | | | | | | | | | | | | |
| | SK | | | | | | | | | | | | |
| 日本史 | TW(α・β) | | | | | | | | | | | | |
| | SK(α・β) | | | | | | | | | | | | |
| 地理 | TW | | | | | | | | | | | | |

| | | | | 高2 | | | 高3 | | |
|-------------------|--|--|--|-------------|--------|------|-----------------|---|--------------|
| 3 | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | | | | 入試実戦 | | | | | |
| ★ 高校文法・4技能演習 | | | | | | | 入試実戦 | | |
| ★ III C演習 | | | | | | | III C入試実戦 | | |
| | | | | III ABC入試実戦 | | | III ABC入試実戦 | | |
| ★ III C演習 | | | | | | | III C入試実戦 | | |
| | | | | III ABC入試実戦 | | | III ABC入試実戦 | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ★ III 導入 | | | | ★ III 演習 | | C 導入 | ★ III C入試実戦 | | |
| ★ III ABC演習 | | | | | | | III ABC入試実戦 | | |
| II BC 導入 | | | | ★ III C 導入 | | | III C 演習 | | III C 入試実戦 |
| | | | | | | | III ABC入試実戦 | | |
| ★ III ABC演習 | | | | | | | →TW/T/SKいずれかのβへ | | |
| | | | | | | | III C 導入 | | ★ III C 入試実戦 |
| | | | | | | | III ABC演習 | | III ABC入試実戦 |
| | | | | 入試実戦 | | | | | |
| ★ 読解演習(古漢) | | | | 読解演習(現古漢) | | | 入試実戦(TWへ合流) | | |
| ★ 読解演習(現古漢) | | | | | | | 入試実戦 | | |
| 力学導入 | | | | 熱力学導入/波動導入 | 電磁気学導入 | ★ | 全分野演習 | | 入試実戦 |
| 力学導入 | | | | 熱力学導入/波動導入 | 電気導入 | ★ | 全分野導入・演習 | | 入試実戦 |
| 理論化学導入 | | | | 無機化学導入 | 有機化学導入 | ★ | 全分野演習 | | 入試実戦 |
| 理論化学導入 | | | | 無機化学導入 | 有機化学導入 | ★ | 全分野導入・演習 | | 入試実戦 |
| 生物基礎導入 | | | | 生物導入 | | ★ | 全分野演習 | | 入試実戦 |
| 導入(全時代) | | | | | | | ★ 導入(全時代) | | ★ 演習 |
| 導入(原始～江戸時代=前近代まで) | | | | | | | ★ 導入(全時代・テーマ史) | | ★ 演習 |
| 導入(全範囲) | | | | | | | ★ 導入(全範囲) | | ★ 演習 |

年間スケジュール[中1～中3] ★…クラス選抜試験

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|----|------------------------------|-------|----|------------------------------|---------------------------|---|
| 中1 | | 春期講習会 | | オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策 | 個別面談① 定期試験対策 | 夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) 必修テスト① ★ |
| 中2 | 必修テスト① オリエンテーション 春期講習会 | | | オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策 | 個別面談① 定期試験対策 | 夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) 必修テスト② ★ |
| 中3 | オリエンテーション 春期講習会 | | | 定期試験対策 保護者会① オリエンテーション | 必修テスト① 定期試験対策 個別面談① | 夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) ★ |

※イベントの時期・名称は変更になる場合があります。

| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|------------------------------|---------------------------|--------------------|--------------------|---------------------------|------------------|
| 必修テスト② | 定期試験対策 保護者会② オリエンテーション | 個別面談② 定期試験対策 | TWクラス選抜試験(前期) ★ | 冬期講習会 オリエンテーション | 必修テスト③ 新年度説明会 個別面談③ | 定期試験対策 |
| 必修テスト③ | 定期試験対策 保護者会② オリエンテーション | 個別面談② 定期試験対策 | TWクラス選抜試験(前期) ★ | 冬期講習会 オリエンテーション | 必修テスト④ 新年度説明会 個別面談③ | 定期試験対策 |
| 必修テスト② | 定期試験対策 保護者会② オリエンテーション | 必修テスト③ 定期試験対策 個別面談② | TWクラス選抜試験(前期) ★ | 冬期講習会 オリエンテーション | 東大への数学 新年度説明会 個別面談③ | 必修テスト④ 定期試験対策 |

科目別シラバス

- ・ 英語
- ・ 数学
- ・ 国語

英語科カリキュラム

中学1年～高校3年

英語科指導方針

選抜クラス (TW) 授業の進め方

● 感覚的理解を論理的理解へ

中1～中2で中学内容の先取りを終了し、話す・聴く＝音声を介した学習によって英語を体得する学習から、英文法の体系学習に移行します。これによって、学年に応じて洗練されてきた知性の中でこれまでの学習で体得した点の知識を論理的有機的に結びつけ、感覚的理解を知識の側面から洗い直し、論理的理解に昇華します。授業の中では日本語を活用し、英文和訳の手法も取り入れていきます。これにより、日本語での和訳・要約、日本語からの英訳といった日英両語の理解を前提とする日本の大学受験の入試問題にも対応できる実戦力を身につけます。

● 伸ばしていく英語力

中1～中2でのTW Boosterとは異なり、授業は日本人講師が行います。また、授業を α と β に分け、それぞれで扱う領域を明確化します。両クラスとも中学英文法の復習を織り交ぜながら、英語運用能力の基盤として α では語彙、 β では高校英文法それぞれの力を鍛えます。また、英語運用の実践として、 α では英文解釈と長文読解を、 β では英作文を取り扱い、これまで学んできた英文法と英語運用を結び付けていく訓練を1年間継続し、高1以降のより高度な英語運用基盤を固めます。

● 音声学習について

音声学習では、テキスト「重要例文集」に収録されている「生きた音声」で「生きた英文」を学習します。例文は自然ながらも、各文法単元の重要事項を余すところなく網羅するよう工夫された英文を収録しました。この英文を用いて、発声の訓練を行ないながら、重要構文を体得することが狙いです。また、合わせて中3から開講されるオンライン英会話「Online English Education(OEE)」の受講を推奨します。各英文法単元ごとの重要口頭表現を学び、その後各種英語民間試験のスピーキング領域の対策として口頭でのプレゼンテーション、意見陳述、場面描写を学ぶカリキュラム構成となっています。

オープンクラス (S) 授業の進め方

● 文法基盤構築から実践運用へ

Sクラスでは2年間で高校英文法全範囲の学習を2周終えます。中3の1年間は中学学習の振り返りを随所に挟みつつ、高校英文法の体系学習を進めます。その後高1では高校英文法の基盤を盤石なものにしつつ、英文和訳の演習も取り入れていきます。これにより、日本語での和訳、日本語からの英訳といった日英両語の理解を前提とする日本の大学受験の入試問題にも対応できる実戦力を身につけます。

● 伸ばしていく英語力

中学英文法の復習を織り交ぜながら、英語運用能力の基盤として語彙、高校英文法それぞれの力を鍛えます。また、英語運用の実践として、英文構成、英作文を取り扱います。

● 音声学習について

中3から開講されるオンライン英会話「Online English Education(OEE)」の受講を推奨します。各英文法単元ごとの重要口頭表現を学び、その後各種英語民間試験のスピーキング領域の対策として口頭でのプレゼンテーション、意見陳述、場面描写を学ぶカリキュラム構成となっています。

【6年間の流れ】

| | TW Booster | TW・S |
|----|--|--|
| 中1 | オールイングリッシュの授業で、中学文法を一通り使える形にし、1年間で英検®準2級レベル(およそ2000語程度)の語彙力を身につけます。また、授業でリスニングやスピーキングの力を鍛え、さらには毎週のライティング課題を課し、英語運用を日常化します。読書は1年間で総計45～60万語に触れます。 | 中学英文法の2/3を一通り使える形にし、1年間で英検®3級レベル(1200語程度)の語彙力を身につけます。確かな理解はもちろんのこと、文字と音声を介した反復訓練によって、英語運用の基盤を整えることを目標とします。 |
| 中2 | 中1に引き続き、オールイングリッシュの授業でより高度な英語運用能力を身につけます。レベルの高い会話や講義なども聴きとれるようになり、英検®2級はもちろんのこと、準1級にも相当する力をつけていきます。読書量は中1からの2年間で120～160万語に届きます。 | 中1に引き続き、中学英文法の総仕上げをします。夏休みで中学文法の学習を一通り終えた後、秋以降は2周目の学習に突入し、特に文構造に影響を与える文法内容にフォーカスします。 |
| | TW | S |
| 中3 | 高校文法の体系学習に入り、より高度な英文表現を学びます。2年間で培った英語の「身体的感覚的理解」による英文の構造、規則(＝英文法)の知識を日本語によって言語化していきます。これまで読み、書き、聴いて話してきた英文を、文法という媒体を経て有機的に結びつけていきます。 | 高校文法の体系学習に入り、より高度な英文表現を学びます。2年間で整えた英語の基盤をもとに、いよいよ本格的な英語の運用を学んでいきます。 |
| | TW・T | SK |
| 高1 | 語彙や語法といった知識の学習、高校文法の体系学習を1年間で終えます。合わせて、これまで培ってきた基礎語学力を基に、高度な英文の読解と作文による発信を本格的に学んでいきます。 | 高校文法の体系学習に突入し、中学までの内容を凌駕する高度な表現を学んでいきます。無味乾燥な暗記のみに頼らない、本質的な勉強を進めていきます。 |
| 高2 | 東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く英語力をつけます。英作文はもちろん、東大固有の設問形式に纏わる記述答案作成の力をつけるべく、実際の入試問題の演習を多く積みます。秋の東大模試で合格点に届く力をつけていきます。 | 語彙や文法といった知識の基盤をかため、本格的に読解や作文といった演習に力を入れ、解答能力の向上を目指します。大学入学共通テストレベルの英語問題にも対応できる力をつけていきます。 |
| 高3 | 各クラスが目標とする最難関大学の入試問題を演習形式で対策していきます。合格点に到達することは無論のこと、英語の得点で他科目を補うアドバンテージを生み出せるまで力をつけていきます。TWクラスでは記述答案作成力を更に洗練すべく、添削指導を実施いたします。 | |

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の2種類のノートをご用意ください。

① 授業内講義演習ノート

テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書だけでなく、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤と青のペンをご用意ください。

② 宿題演習ノート

宿題の演習は別冊でノートを作成していただき、授業内で回収・チェックを担当講師が行います。答え合わせをするのはもちろん、間違えた問題の直しもこのノートに必ず行いましょう。単語などの書き取りの練習もこのノートに行ってください。

【音声教材】

英語の音声学習用の教材には以下のものがあります。

① 【中3英語TWβ】例文集用音源

重要例文を音声化した教材です。「早稲田アカデミーOnline」からアクセス可能です。

② WordTree3000用音源 (Sigma Player 2)

スマートフォン、タブレットに対応した音声学習用アプリケーションです。文英堂のHP (<https://www.bun-eido.co.jp>) よりインストール可能です。

③ オンライン英会話「Online English Education(OEE)」

月3回のオンライン英会話です。「早稲田アカデミーOnline」からOEEのユーザートップページにアクセス可能です。

【宿題の量】

学年・クラスにより多少は変動しますが、概ね以下のような分量の課題を出します。

①通常期に関しては授業の復習平均2時間・各種テスト準備平均1時間/週×通常授業30回=90時間程度

②長期休暇期間に関しては、春休み、GW、夏休み、冬休みで合計40時間程度

①+②で年間130時間程度の課題を出します。

また①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

高2、3で添削が授業時に行われる場合は、添削が返却されてから、書き直しを実施してください。見て、読んで、おしまい、にすることなく、必ず手を動かすようにしてください。

【テスト(中3)】

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|
| TWクラス選抜 | 7月、12月に実施します。TWクラスの受講には、この試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受講も可能です。目標点の目安は60点です。また、この試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。 | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 必修テスト | 記述型全国模試を6月、9月、11月、2月の年4回受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。 | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 月例テスト | 5月より指定月の初回授業冒頭20分間で月例テストを行います。出題は前月学習したテキストの内容からなされます。合格点は80点が目安です。 | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 単語テスト (TWα・S) | 語彙力(英単語)を測定するテストです。英→和の形式で25問、各月の2回目と3回目の授業で実施します。英語力の基盤の勉強ですので、毎日時間を取りましょう。90点以上が合格点です。 | | | | | | | | | | | |
| | 熟語テスト (TWβ) | 語彙力(英熟語)を測定するテストです。英文中空所補充の形式で10問、各月の2回目と3回目の授業で実施します。重要度は英単語と変わりません。90点以上が合格点です。 | | | | | | | | | | |
| 文法確認テスト (TWβ・S) | | 文法事項、英文表現の定着を測定するテストです。各月の2回目と3回目の授業で実施します。翌授業までに複数日、演習する時間を確保しましょう。80点以上が合格点です。 | | | | | | | | | | |

中3英語TW α (読解)

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

90分

180分

対象

東大・国立大医学部などの最難関大学、
またはハーバード大・MITなどの海外難関大学への進学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

この講座では、これまで学校やTW Booster、TWの授業で学習してきた英文法の知識を運用し、「英文を正確に読む」能力を養います。最難関大学の入試で出題される英文は長く複雑な構造を持つことが多く、語彙力だけでは太刀打ちができません。「英文のルール=英文法」に則り、構造を正確に解釈する練習や、段落の中での論理展開を読み解く練習を積みます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高校リード問題集 英語構文A・高校リード問題集 英語構文B

構文の読み取りに重点をおいた、精読のテキストです。英語構文Aは、TW β で学んだ文法知識を使って標準的な英文の読解を行うテキストです。英語構文Bは、英語構文Aよりも複雑な構造が駆使された難度の高い英文を日本語に翻訳し、英語の構造把握力と文脈予測力を高めるためのテキストです。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で扱う文法事項の導入講義を行い、その後テキスト内「確認問題」「練習問題」「読解問題」「実践問題」を中心とした演習を行います。なお、テキストへの解答書き込みは絶対にしないようにしてください。

※年間を通じて2冊のテキストを使用します。その週に英語構文Aを使うか英語構文Bを使うかはシラバスを参照してください。

復習:受講して初めて知った情報や、逆に不明点として浮上した論点について、辞書や文法書などを使って理解を深め、整理します。それでも理解できないものは、担当講師やアシストスタッフに質問してください。新出の語彙をまとめたミニノートブックを用意するなどの工夫をしてみてください。

また、ノートをしっかり読み直し、下記宿題に記載している通り、問題演習をしっかり反復してください。ただ問題を解き、答え合わせをしたところで効果はありません。必ず以下の注意を守って復習にあってください。

- ①1日で全ての宿題を終えるのではなく、何日かに分けて実施する
- ②英語も日本語も丁寧に書く
- ③解けない問題が出てきても、必要以上に立ち止まらない
- ④演習中や答え合わせ中に発生した「疑問」は、講師やアシストスタッフに質問し解決する

■ WordTree3000英単語・熟語

TW・Sクラス共通の指定英単語帳です。単語と例文の音声収録したアプリ付属の単語集で、対義語や派生語の知識、基本的な動詞・前置詞が含まれる熟語も取り扱います。メインテキストの復習と同様に、翌授業の直前に慌てて詰め込むといった事態にならないように、可能な限り頻度を高めて反復できるよう努めてください。単語を覚える際は単に眺めるだけの学習にならないよう、発音する、書き取るなど、講師の指示に従ってインプットの工夫をしましょう。なお、月例テストでは前月の単語テスト範囲から語い問題を10題程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① WordTree3000の指定範囲英単語英熟語の練習 (1日20分/毎日)

毎週100語指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に「英→日」と「日→英」の確認テストを合計25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習 (1日15分/2日に1回)

その週の復習として、「確認問題」「練習問題」「読解問題」「実践問題」の演習を宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|-----------------|----------|-----------|------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 単語 テスト 5分 | 解説 5分 | 諸伝達 5分 | 解説・読解 40分 |
| | | | 記述・演習・解説 30分 |
| | | | 宿題等の 伝達 5分 |

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | リード | 単元 | 学習事項 | 単語テスト |
|-----|---|-----|------------------|------------------------------|------------------|
| 3月 | ① | B | 英語構文の基礎知識 | — | — |
| | ② | A | 文型 | 句と節、自動詞・他動詞、基本5文型 | 724-800 |
| | ③ | B | 動詞を含む構文 | 動詞の時制、群動詞、前置詞と結びつく動詞 | 801-900 |
| 春期 | ① | | 英文の読み方・未知の単語処理 | 文構造の把握、二文間の論理 | — |
| | ② | | 主語・動詞・目的語・補語の把握 | 文型識別 | — |
| | ③ | | 指示語の内容把握・接続語句の利用 | 指示代名詞や指示形容詞の処理、談話標識 | — |
| | ④ | | パラグラフとトピックセンテンス | 段落内での論理展開 | — |
| 4月 | ① | B | SVOCの構文 | 知覚動詞、使役動詞のパターン | 724-900 |
| | ② | A | 助動詞 | 助動詞の種類と用法、助動詞+have Vpp、慣用表現 | 901-1000 |
| | ③ | B | 助動詞を含む構文 | 助動詞+完了形、特別用法、その他の助動詞 | 1001-1100 |
| 5月 | ① | A | 受動態 | 受動態の時制と文型、群動詞 | 月例テスト |
| | ② | A | 不定詞 | 不定詞の用法、意味上の主語、原形不定詞 | 1101-1200 |
| | ③ | B | 不定詞を含む構文 | 意味上の主語、不定詞のパターン | 1201-1300 |
| 6月 | ① | B | 不定詞を含む構文 | be to不定詞、形容詞的用法、独立不定詞 | 月例テスト |
| | ② | A | 動名詞 | 動名詞の用法、慣用表現 | 1301-1400 |
| | ③ | B | 動名詞を含む構文 | 意味上の主語、動名詞のパターン、慣用表現 | 1401-1500 |
| 7月 | ① | A | 分詞 | 分詞の用法、分詞構文、独立分詞構文 | 月例テスト |
| | ② | B | 分詞を含む構文 | 分詞の用法、分詞構文、独立分詞構文 | 1501-1600 |
| | ③ | B | itを含む構文 | 形式主語・目的語、itの特別用法 | 1601-1682 |
| 夏期 | ① | | 長文読解演習 | — | — |
| | ② | | 長文読解演習 | — | — |
| | ③ | | 長文読解演習 | — | — |
| 9月 | ① | A | 接続詞 | 等位接続詞、名詞節、副詞節を導く従位接続詞 | 724-1682 |
| | ② | B | 時を表す構文 | 時を表す副詞節 | 724-800 |
| | ③ | A | 関係代名詞 | 関係詞の制限、非制限用法、前置詞+関係代名詞・慣用表現 | 801-900 |
| 10月 | ① | B | 関係詞を含む構文 | 関係代名詞、非制限用法、what/asの慣用表現 | 月例テスト |
| | ② | A | 関係副詞・複合関係詞 | 関係副詞の制限用法、非制限用法、複合関係詞の用法 | 901-1000 |
| | ③ | B | 関係詞を含む構文 | その他の関係代名詞、複合関係詞の用法 | 1001-1100 |
| 11月 | ① | A | 比較 | 比較表現のパターン、注意すべき比較の表現 | 月例テスト |
| | ② | B | 比較構文 | 原級・比較級を使った比較表現 | 1101-1200 |
| | ③ | B | 比較構文 | 最上級を使った比較表現、注意すべき比較の表現 | 1201-1300 |
| 12月 | ① | A | 仮定法 | 仮定法過去・仮定法過去完了、仮定法表現のパターン | 月例テスト |
| | ② | B | 条件・仮定を表す構文 | 仮定法過去・仮定法過去完了、仮定法表現のパターン | 1301-1400 |
| | ③ | B | 条件・仮定を表す構文 | Ifの省略、If節のない仮定法 | 1401-1500 |
| 冬期 | ① | | 長文読解演習 | — | — |
| | ② | | 長文読解演習 | — | — |
| | ③ | | 長文読解演習 | — | — |
| | ④ | | 長文読解演習 | — | — |
| 1月 | ① | A | 特別な表現・代名詞 | 強調、倒置、同格、省略、挿入、不定代名詞、Itの特別用法 | 724-1500 |
| | ② | B | 特別な表現を含む構文 | 強調、倒置、同格、省略、挿入 | 1501-1600 |
| | ③ | B | 譲歩・目的・結果を表す構文 | 譲歩、目的、結果を表す副詞節 | 1601-1682 |
| 2月 | ① | A | 否定表現 | 部分否定、準否定、二重否定、否定語のない否定表現 | 月例テスト |
| | ② | B | 否定構文 | 準否定語、部分否定、二重否定、否定語のない否定表現 | 1049-1367(総まとめ①) |
| | ③ | B | 名詞・代名詞を含む構文 | 名詞構文、無生物主語、再帰代名詞 | 1368-1682(総まとめ②) |

上記カリキュラムのほかにも、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中3英語TWβ (文法)

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

90分

180分

対象

東大・国立大医学部などの最難関大学、
またはハーバード大・M.I.Tなどの海外難関大学への進学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

4年後の東京大学合格に必要な英語力の素地をつくるだけでなく、英語をコミュニケーションのツールとして運用していくことを前提とした指導をします。TW BoosterやTWで学習した内容に上乘せつつ、本質的・理論的理解を深めます。英文法はもちろんのこと、東京大学などにみられる発信型の作文問題にも対応できるよう、記述作文の演習も取り入れていきます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中3英語TWβ (前期・後期)

「錬成」「発展」の2パートからなり、「錬成」は授業内で例題として扱ったり演習題として用いたりします。「発展」は一部を授業で演習し、残りは宿題となります。「for further study」は授業状況に応じて適宜扱いを変えますので授業担当の指示に従ってください。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で扱う文法事項の導入講義を行い、その後テキストに収録された問題を中心に演習します。

復習:ノートをしっかり読み直し、下記宿題に記載している通り、問題演習をしっかり反復してください。ただ問題を解き、答え合わせをしたところで効果はありません。必ず以下の注意を守って復習にあってください。

- ①1日で全ての宿題を終えるのではなく、何日かに分けて実施する
- ②英語も日本語も丁寧に書く
- ③解けない問題が出てきても立ち止まらない
- ④発生した「疑問」は、講師やアシスタスタフに質問し解決する

■ 中3英語TWβ重要例文集(前期・後期)

授業内で取り上げる文法学習内容、単語テストの内容に完全にリンクした重要例文集です。英文をノートに写し、「早稲田アカデミーOnline」上の音声を読みながら、実際に声に出すことで、各文法単元の重要英文を体得します。翌授業内で口頭試問を課します。また文法確認テストにも作文問題として出題をします。

使用法

予習:不要です。

授業:原則授業内では使用しません。持参の指示が講師からあった場合はそれに従ってください。

復習:以下の点を守って、正しく効率的に勉強をしてください。

- ① 音声を聴く
「早稲田アカデミーOnline」から各例文の音声を聴くことができます。まずは各文を発声するうえでの特徴をしっかり確認しましょう。
- ② テキストを見ながら発声する
テキストの例文を見ながら、音声に続いて発声しましょう。なるべく自分なりに見本音声の真似をしてみてください。日本語なまりの発音が定着する前だからこそ、聴いた音の自分なりの再現は有効です。
- ③ テキストを見ないで発声する
続いて、テキストを見ない状態で音声を聴き、同様に発声をしてみましょう。②をしっかりできていればスムーズに例文が自身の口から出てくるはずですが。
- ④ 例文をノートに3回ずつ書く
雑に書くことなく、一回一回丁寧に、音声を頭の中で巡らせながらノートに書きましょう。

■ ターゲット 中学英熟語400

見出し語とその意味のみならず、掲載されている例文、同義表現、反意表現も合わせて必ず学習し、掲載された情報を余すことなく理解してください。月例テストでも前月範囲から一部出題します。

■ 英文法ハンドブック(前期・後期)

メインブックの演習時に隣に置いておき、必要な時に参照し、不明点を調べ解決することを習慣化しましょう。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① ターゲット 中学英熟語400の指定範囲英熟語の練習 (1日10分/毎日)

毎週25個指定された範囲の英熟語を覚えます。週週に「英文中空所補充形式」の確認テストを10題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習 (1日15分/2日に1回)

その週の復習として、指定範囲の解き直しを宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。

③ 重要例文集の暗記と口頭練習

毎週5-10個の英文の暗記と口語訓練(発音)をします。②と合わせ、翌週に確認テストを実施します。また、口頭での暗唱テストを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 諸伝達 5分 | 熟語テスト 5分 | 文法確認 テスト 5分 | 文法理論講義・演習・解説 40分 |
| | | | 記述問題演習・解説・宿題等の伝達 35分 |

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 文法 | 学習事項 | 文法・例文確認テスト | 熟語テスト |
|-----|---|------------|---------------------|------------|---------|
| 3月 | ① | 文の成り立ちと要素 | 各品詞の機能と文中での位置 | — | — |
| | ② | 文型① | 基本5文型の区別と訳出 | 文の成り立ちと要素 | 1-25 |
| | ③ | 文型② | 使役構造と知覚構造 | 文型 | 26-50 |
| 春期 | ① | 時制① | 基本時制の理解、未来表現 | — | — |
| | ② | 時制② | 完了相 | — | — |
| | ③ | 助動詞① | 各助動詞の基本的用法、慣用表現 | — | — |
| | ④ | 品詞と文型 | 品詞文型総論 | — | — |
| 4月 | ① | 受動態① | 受動態の本質理解 | — | 1-50 |
| | ② | 受動態② | 様々な受動態 | 受動態① | 51-75 |
| | ③ | 不定詞① | 不定詞句の品詞識別① | 受動態② | 76-100 |
| 5月 | ① | 不定詞② | 意味上の主語、否定・受身・完了の表し方 | 月例テスト | |
| | ② | 不定詞③ | 不定詞を使った定型表現 | 不定詞② | 101-125 |
| | ③ | 動名詞① | 動名詞の基本、不定詞との相違点 | 不定詞③ | 126-150 |
| 6月 | ① | 動名詞② | 意味上の主語、否定・受身・完了の表し方 | 月例テスト | |
| | ② | 分詞① | 現在分詞と過去分詞 | 動名詞② | 151-175 |
| | ③ | 分詞② | 分詞構文 | 分詞① | 176-200 |
| 7月 | ① | 接続詞① | 等位接続詞、名詞節を導く従位接続詞 | 月例テスト | |
| | ② | 接続詞② | 副詞節を導く従位接続詞、節構造理解 | 接続詞① | 201-225 |
| | ③ | 前期の復習 | — | 接続詞② | 226-250 |
| 夏期 | ① | 時制・助動詞 | 1学期学習内容の復習 | — | — |
| | ② | 文構造・受動態 | 1学期学習内容の復習 | — | — |
| | ③ | 不定詞・動名詞・分詞 | 1学期学習内容の復習 | — | — |
| 9月 | ① | 疑問詞 | 疑問代名詞、疑問副詞、疑問形容詞 | — | 1-250 |
| | ② | 関係詞① | 関係詞の基本、関係代名詞 | 疑問詞 | 251-275 |
| | ③ | 関係詞② | 関係形容詞、関係副詞 | 関係詞① | 276-300 |
| 10月 | ① | 関係詞③ | 複合関係詞、疑似関係代名詞 | 月例テスト | |
| | ② | 比較① | 原級・比較級・最上級比較の基本 | 関係詞③ | 301-325 |
| | ③ | 比較② | 比較構文での頻出表現 | 比較① | 326-350 |
| 11月 | ① | 比較③ | 複雑な比較構文 | 月例テスト | |
| | ② | 仮定法① | 仮定法の基本 | 比較③ | 351-375 |
| | ③ | 仮定法② | if節を用いない仮定法構文 | 仮定法① | 376-400 |
| 12月 | ① | 代名詞 | 人称代名詞、指示代名詞、不定代名詞 | 月例テスト | |
| | ② | 名詞・冠詞 | 名詞の分類、不定冠詞と定冠詞 | 代名詞 | 1-200 |
| | ③ | 形容詞・副詞 | 品詞ごとの語法、用法 | 名詞・冠詞 | 201-400 |
| 冬期 | ① | 接続詞・疑問詞 | 2学期学習内容の復習 | — | — |
| | ② | 関係詞 | 2学期学習内容の復習 | — | — |
| | ③ | 比較 | 2学期学習内容の復習 | — | — |
| | ④ | 仮定法 | 2学期学習内容の復習 | — | — |
| 1月 | ① | 前置詞① | 各前置詞の用法と語法① | — | 251-400 |
| | ② | 前置詞② | 各前置詞の用法と語法② | 前置詞① | 1-100 |
| | ③ | 否定 | 様々な否定語 | 前置詞② | 101-200 |
| 2月 | ① | 一致・話法 | 直接話法と間接話法 | 月例テスト | |
| | ② | 特殊構文 | 無生物主語構文、名詞構文 | 一致・話法 | 201-300 |
| | ③ | 後期の復習 | — | 特殊構文 | 301-400 |

上記カリキュラムのほかにも、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中3英語S (文法) 中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

難関国公立大・早慶上智大をはじめとする難関大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

講座の目的

難関国公立大や早慶上智大に合格するための基礎学力の習得、英文法知識の基礎の定着に主眼を置いた講座です。中高一貫校の一般的な進度に合わせ、これまで学んできた中学英文法の知識を基に高校英文法内容を基本から丁寧に指導をしていきます。学習内容としては、公立中学校に通う生徒が高1で学習する内容を1年間先取りし、高校英文法事項を3月より学習していきます。レベルとしては英検[®]2級合格程度の力の習得を目指し、今後高1・高2で学習が始まる、英文解釈(精読)や長文読解(通読)の為に必要な、「英文のルール=英文法」の礎を築きます。このペースで学習を進めることにより、今後余裕をもって難関大学合格に必要な英文読解力を身につけることができます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中3英語S(前期・後期)

中3英語Sのメイン教材であり、問題演習用のテキストです。各回のテーマが明確に決まっており、難度別に分けられた「PartA」「PartB」にその回で学習すべき問題が網羅されています。

使用法

予習:原則として不要です。

授業:各回の冒頭で当該単元の導入を行ってから、「PartA」の演習～解説に移ります。講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習:「PartA」の解き直しが宿題となります。なお「PartB」の扱いは、授業担当がクラス状況を見て判断しますので、担当講師の指示に従ってください。翌週に実施される確認テストで合格点(80点)以上取れるようしっかり復習しましょう。

■ WordTree3000英単語・熟語

TW・Sクラス共通の指定英単語帳です。単語と例文の音声収録したアプリ付属の単語集で、対義語や派生語の知識、基本的な動詞・前置詞が含まれる熟語も取り扱います。メインテキストの復習と同様に、翌授業の直前に慌てて詰め込むといった事態にならないように、可能な限り頻度を高めて反復出来るよう努めてください。単語を覚える際は単に眺めるだけの学習にならないよう、発音する、書き取るなど、講師の指示に従ってインプットの工夫をしましょう。月例テストでも前月範囲から一部出題します。

■ 英文法重要事項集

英文法の勉強では絶対に避けて通ることができない重要な例文、構文、慣用表現などを収録したハンドブックです。メインブックの演習時に隣に置いておき、必要な時に参照し、不明点を調べ解決することを習慣化しましょう。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① WordTree3000の指定範囲英単語の練習(1日20分/毎日)

毎週50語指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に「英→日」の確認テストを25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは翌授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

その週の復習として、「基本問題」「演習問題」の演習を宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|------------------|--------------------------------|------------------|-------------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 諸伝達 5分 | 文法確認テスト 単語テスト 15分 | 解説 10分 | 文法理論講義 30分 |
| | | | 文法演習・解説 25分 |
| | | | 宿題等の 伝達 5分 |

・クラスの数や理解などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 文法単元 | 文法確認テスト | 単語テスト |
|-----|---|-------------|-------------|-----------|
| 3月 | ① | 文の種類・品詞・句と節 | - | - |
| | ② | 疑問詞・疑問文 | 文の種類・品詞・句と節 | 1-50 |
| | ③ | 基本文型 | 疑問詞・疑問文 | 51-100 |
| 春期 | ① | 品詞・句と節 | - | - |
| | ② | 文型 | - | - |
| | ③ | 長文読解演習① | - | - |
| | ④ | 長文読解演習② | - | - |
| 4月 | ① | 動詞の語法① | - | 1-100 |
| | ② | 動詞の語法② | 動詞の語法① | 101-150 |
| | ③ | 受動態 | 動詞の語法② | 151-200 |
| 5月 | ① | 時制① | 月例テスト | |
| | ② | 時制② | 時制① | 201-250 |
| | ③ | 助動詞① | 時制② | 251-300 |
| 6月 | ① | 助動詞② | 月例テスト | |
| | ② | 不定詞① | 助動詞② | 301-350 |
| | ③ | 不定詞② | 不定詞① | 351-400 |
| 7月 | ① | 動名詞 | 月例テスト | |
| | ② | 分詞① | 動名詞 | 401-450 |
| | ③ | 分詞② | 分詞① | 451-500 |
| 夏期α | ① | 長文読解演習① | - | - |
| | ② | 長文読解演習② | - | - |
| | ③ | 長文読解演習③ | - | - |
| 夏期β | ① | 助動詞 | - | - |
| | ② | 動詞の語法 | - | - |
| | ③ | 受動態 | - | - |
| 9月 | ① | 接続詞① | - | 1-500 |
| | ② | 接続詞② | 接続詞① | 501-550 |
| | ③ | 関係詞① | 接続詞② | 551-600 |
| 10月 | ① | 関係詞② | 月例テスト | |
| | ② | 関係詞③ | 関係詞② | 601-650 |
| | ③ | 比較① | 関係詞③ | 651-700 |
| 11月 | ① | 比較② | 月例テスト | |
| | ② | 仮定法① | 比較② | 701-750 |
| | ③ | 仮定法② | 仮定法① | 751-800 |
| 12月 | ① | 名詞・冠詞 | 月例テスト | |
| | ② | 代名詞 | 名詞・冠詞 | 801-850 |
| | ③ | 形容詞 | 代名詞 | 851-900 |
| 冬期 | ① | 準動詞① | - | - |
| | ② | 準動詞② | - | - |
| | ③ | 関係詞① | - | - |
| | ④ | 関係詞② | - | - |
| 1月 | ① | 副詞 | - | 501-900 |
| | ② | 前置詞 | 副詞 | 901-950 |
| | ③ | 注意すべき構文① | 前置詞 | 951-1000 |
| 2月 | ① | 注意すべき構文② | 月例テスト | |
| | ② | 注意すべき構文③ | 注意すべき構文② | 1001-1048 |
| | ③ | 時制の一致と話法 | 注意すべき構文③ | 601-1048 |

※ 上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。 ※ 個人別の課題を設定する場合があります。 ※ 受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

数学科カリキュラム

中学1年～高校3年

数学科指導方針

● 中学数学+数学ⅠAの土台作りから数学ⅡBへ

- ①「中学数学+数学ⅠA」の基本知識と解法習得
- ②①を高校数学の土台として「数学ⅡB」「数学ⅢC」の各単元の知識と解法習得
- ③「入試演習」へと進む

という3段階の枠組みで学習を進めます。「数学ⅠA」は「中学数学を少し発展させた内容」であるため、この「数学ⅠA」までを土台として固める方針により、スムーズかつ自然に高校数学へ移行できます。その上で「数学ⅡB」や「数学ⅢC」の単元学習を進めることにより、ハイスピードであることを保ちながらも丁寧かつ確実に高校数学内容を消化し、「中学数学の学習を終えた後、一気に高校数学で新しい内容や考え方が増えて消化不良になる」ことを極小化できると考えています。

TWクラスでは①を中1中2の2年間・②を中3（数ⅢCは高1）・③を高1～で進め、Sクラスでは①を中1～中3までの3年間・②を高1（数ⅢCは高2）・③を高2～で進めます。

※下表を参照

● 課題・問題内容において「負荷をかける時期」をコントロール

早期に必要な計算力を身につけて高校数学の学習をスムーズかつハイスピードで進めるためには、やはり相応の負荷が必要です。いわゆる「できる子」でも年間130時間程度、やり直しや追加課題が必要な子だと年間200時間程度の課題が必要であると考えています。しかしながらそれを年間通じて一定のペースで消化しようとする、「困難な時期」が発生します。学校のある通常期と夏休みなどの長期休暇期間に合わせて適切に課題量を調整するのはもちろん、さらに個別に追加課題が必要な状況においても個々の状況に合わせて、本人と一緒に計画を立て、その通りに進んでいるかをチェックします。また、通常期は「基礎・基本を確実にできるようにすること」を優先し、「発展的な問題」は講習会や学年が上がってからの演習時期で復習とともに繰り返し扱うことで、「余裕のある時期」に知識と処理能力の向上を図ります。

【6年間の流れ】

| | TW Booster・TW | S |
|----|--|--|
| 中1 | 中学数学の代数・幾何からさらにそれを発展させた高校数学ⅠAまでを、この2年間で「高校数学の土台」として完成させます。この後に続く「数学ⅡB」、理系であれば「数学ⅢC」の幅広い知識をスピーディに習得していくため、この時期でその土台となる基本知識と典型処理を習得することに終始します。 | 中学数学の代数・幾何からさらにそれを発展させた高校数学ⅠAまでを、この3年間で「高校数学の土台」として完成させます。この後に続く「数学ⅡB」、理系であれば「数学ⅢC」の幅広い知識をスピーディに習得していくため、この時期でその土台となる基本知識と典型処理を習得することに終始します。 |
| 中2 | | |
| 中3 | 一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学ⅡBを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学ⅠⅡABCの単元学習はここで完了します。 | |
| 高1 | 高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学ⅢCの基本知識をこの1年間で学習します。 | 一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学ⅡBを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学ⅠⅡABCの単元学習はここで完了します。 |
| 高2 | 数学ⅠAⅡB、数学ⅢCともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。 | 高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学ⅢCの基本知識をこの1年間で学習します。 |
| 高3 | | 数学ⅠAⅡB、数学ⅢCともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。 |

【カリキュラム】

| | | 中1 | | | 中2 | | | 中3 | | | |
|------------|---|---------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | 〈1学期〉 | 〈2学期〉 | 〈3学期〉 | 〈1学期〉 | 〈2学期〉 | 〈3学期〉 | 〈1学期〉 | 〈2学期〉 | 〈3学期〉 | |
| TW Booster | α | 中1～中3代数 | | | Ⅰ導入 | | Ⅱ導入 | | Ⅱ導入 | | |
| | β | 中1～中3幾何 | | | A導入 | | BC導入 | | BC導入 | | ⅠAB演習 |
| TW | α | 中1～中3代数 | | | 中3代数 | | Ⅰ導入 | | Ⅱ導入 | | |
| | β | 中1～中3幾何 | | | 中3幾何 | | A導入 | | B導入 | | C導入 |
| S | α | 中1～中3代数 | | | 中3代数 | | 中学代数復習 | | Ⅰ導入 | | Ⅱ導入 |
| | β | 中1～中3幾何 | | | 中3幾何 | | 中学幾何復習 | | A導入 | | Ⅱ導入 |

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の3つのノートをご用意ください。

① 授業ノート

講義内容（理論の説明部分）、授業内での問題演習部分ともに1冊のノートでまとめて構いません。後から見返す際の見やすさを考えて、ノート左ページを講義内容、右ページを左ページの講義内容と対応する演習問題を解くページとすることを推奨しますが、ある程度自分なりに見やすくなるよう工夫していただいて構いません。講師からの特別な指示がない限り、テキストに直接書き込むことはせず、講師からの説明内容はすべてこのノートに記録してください。※最低限、黒・赤・青・緑の4色+適宜蛍光ペン1本あれば問題ありません。

② 宿題用ノート

宿題用テキストの問題演習をするための専用ノートをご用意ください。毎回の授業時に講師が回収し、宿題チェックを行います。問題を解き、赤ペンで答え合わせをるところまで、このノートに実施してください。※間違えた問題のやり直しは③のノートに行います。

③ 間違いまとめノート

自分の間違えた問題とその原因・そして自分で決めた改善策を蓄積するノートです。「授業内で間違えてしまった問題」「宿題で間違えてしまった問題」「テストで間違えてしまった問題」、すべてここに記録しましょう。②のノートとともに、毎回の授業で講師がチェックします。

【宿題の量】

①通常期に関しては、 $\alpha\beta$ 合計平均3時間前後/週 × 通常授業30回 ÷ 年間90時間程度

②長期休暇期間に関しては、春休み中、GW、夏休み中、冬休み中で合計40時間程度

①+②で年間130時間程度分の課題が課されます。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しや復習にかかる時間」が増えます。

①で $\alpha\beta$ 合計で通常期平均+1時間、講習会平均+2時間の復習時間が増加

②で長期休暇課題が1.5倍程度に増加

すると仮定すると、

1時間 × 通常30回 + 2時間 × 講習会春夏冬合計11回 + 休暇課題20時間 ÷ 70時間程度

となるため、この場合は年間200時間程度必要です。

【テスト(中3)】

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|
| TWクラス選抜 | 7月、12月に実施します。TWクラスの受講には、この試験に合格する必要があります。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受講も可能です。目標点の目安は60点です。また、この試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。 | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 必修テスト | 記述型全国模試を6月、9月、11月、2月の年4回受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。 | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 月例テスト | 5月より指定月の初回冒頭20分間でチェックテストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。目標点数の目安は60点です。 | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 確認テスト | 毎月の第2回目、第3回目の授業において実施します。前週に学習した内容の確認テストを行います。テキストの類題が出題されます。目標点数の目安は60点です。 | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |

| | | 高1 | | | 高2 | | | 高3 | | |
|-------------|----------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | <1学期> | <2学期> | <3学期> | <1学期> | <2学期> | <3学期> | <1学期> | <2学期> | <3学期> |
| TW | α | III導入 | | | III演習 | | | III演習 | | |
| | β | I II ABC演習 | | | I II ABC演習 | | | I II ABC演習 | | |
| SK γ | | II BC導入 | | | I II ABC演習 | | | | | |
| T | α | I導入 | II導入 | III導入 | III導入 | III演習 | C導入 | III演習 | | |
| | β | A導入 | BC導入 | | I II ABC演習 | | | I II ABC演習 | | |
| SK | α | I導入 | II導入 | | II導入 | III導入 | | III演習 | | |
| | β | A導入 | | B導入 | BC導入 | III導入 | | I II ABC演習 | | |

中3数学TW Boostera

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指しつつ、
ジュニア数学オリンピック対策をしたい生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

高校単元の数学IIを導入からはじめていき、年内に終わらせる非常に速い先取りカリキュラムで進んでいきます。各単元における頻出問題の定着にとどまらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、東大などの最難関大学合格に必要なとされる記述力や計算力、応用力を身につけていきます。さらにジュニア数学オリンピックに対応する思考力も併せて身につけていきます。

中3終了時まで、大学入学共通テストレベルの数学IIで8割以上がとれる実力を身につけ、ジュニア数学オリンピック本選に出場することを到達度の目安としています。

【教材】

■ 数学IIB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。

■ 演習用テキスト

講習会以外の演習実施回では、メインテキストではなく演習用テキストを配布し使用します。

■ 講習会テキスト(冬期講習会で使用)

講習会の授業で使用される問題演習用のテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、授業後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:講習会では既習分野の問題演習中心の授業になります。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また、詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ コンプリート 数学II

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学II (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行きましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で1時間程度)

授業テキスト内から2~3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは書き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 確認テスト 15分 | 諸伝達 5分 | 講義 15分 | 演習 10分 |
| | | 解説 10分 | 講義 15分 |
| | | 演習 10分 | 解説 10分 |

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 授業内容 | 使用テキスト | 確認テスト |
|-----|---|-----------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 3月 | ① | 【数Ⅱ】 §1-5 不等式の証明② | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ演習】 式と証明① | 「式と証明演習(3月)」テキスト | §1-5 不等式の証明② |
| | ③ | 【数Ⅱ演習】 式と証明② | 「式と証明演習(3月)」テキスト | 式と証明① |
| 春期 | ① | 【数Ⅱ】 §2-1 複素数と2次方程式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §2-2 解と係数の関係 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §2-1 複素数と2次方程式 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §2-3 剰余の定理・因数定理 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §2-2 解と係数の関係 |
| | ④ | 【数Ⅱ】 §2-4 高次方程式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §2-3 剰余の定理・因数定理 |
| 4月 | ① | 【数Ⅱ】 §3-1 座標平面上の点 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-2 直線の方程式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-1 座標平面上の点 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-3 直線に関するいろいろな問題 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-2 直線の方程式 |
| 5月 | ① | 【数Ⅱ】 §3-4 円と直線① | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-5 円と直線② | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-4 円と直線① |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-6 軌跡と方程式 [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-5 円と直線② |
| 6月 | ① | 【数Ⅱ】 §3-6 軌跡と方程式 [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-7 不等式の表す領域① | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-6 軌跡と方程式 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-8 不等式の表す領域② | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-7 不等式の表す領域① |
| 7月 | ① | 【数Ⅱ演習】 図形と方程式① | 「図形と方程式演習(7月)」テキスト | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ演習】 図形と方程式② | 「図形と方程式演習(7月)」テキスト | 図形と方程式① |
| | ③ | 【数Ⅱ演習】 §3 図形と方程式発展問題演習 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 図形と方程式② |
| 夏期 | ① | 【数Ⅱ】 §5-1 指数の拡張 / §5-2 指数関数 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §5-3 対数とその応用 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §5-1 指数の拡張 / §5-2 指数関数 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §5-4 対数関数 / §5-5 常用対数 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §5-3 対数とその応用 |
| 9月 | ① | ジュニア数学オリンピック予選演習① | 「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト | — |
| | ② | ジュニア数学オリンピック予選演習② | 「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト | — |
| | ③ | ジュニア数学オリンピック予選演習③ | 「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト | — |
| 10月 | ① | ジュニア数学オリンピック予選演習④ | 「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト | — |
| | ② | ジュニア数学オリンピック予選演習⑤ | 「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト | — |
| | ③ | ジュニア数学オリンピック予選演習⑥ | 「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト | — |
| 11月 | ① | 【数Ⅱ】 §4-1 弧度法・三角関数のグラフ | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §4-2 三角関数の方程式と不等式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-1 弧度法・三角関数のグラフ |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §4-3 加法定理 [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-2 三角関数の方程式と不等式 |
| 12月 | ① | 【数Ⅱ】 §4-3 加法定理 [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §4-4 加法定理の応用① | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-3 加法定理 [2] |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §4-5 加法定理の応用② | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-4 加法定理の応用① |
| 冬期 | ① | 【数Ⅱ演習】 三角関数の復習、指数関数の復習 | 冬期テキスト | — |
| | ② | 【数B演習】 漸化式の復習、数学的帰納法の復習 | 冬期テキスト | — |
| | ③ | 【数B演習】 平面ベクトルの復習 | 冬期テキスト | — |
| | ④ | 【数B演習】 空間ベクトルの復習 | 冬期テキスト | — |
| 1月 | ① | 【数Ⅱ】 §6-1 微分係数・導関数 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §6-2 接線の方程式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §6-1 微分係数・導関数 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §6-3 関数の増減と極値 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §6-2 接線の方程式 |
| 2月 | ① | 【数Ⅱ】 §6-4 最大値と最小値 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §6-5 方程式と不等式への応用 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §6-4 最大値と最小値 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §6-6 不定積分と定積分 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §6-5 方程式と不等式への応用 |

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

❖ 数学科カリキュラム

中3数学TW Booster β

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

90分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指しつつ、
ジュニア数学オリンピック対策をしたい生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

高校単元の数学BCを導入からはじめていき、1学期に終わらせる非常に速い先取りカリキュラムで進んでいきます。各単元における頻出問題の定着にとどまらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、東大などの最難関大学合格に必要なとされる記述力や計算力、応用力を身につけていきます。さらにジュニア数学オリンピックに対応する思考力も併せて身につけていきます。

中3終了時まで、大学入学共通テストレベルの数学IIBCで8割以上がとれる実力を身につけ、ジュニア数学オリンピック本選に出場することを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 数学IIB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。

■ 演習用テキスト

講習会以外の演習実施回では、メインテキストではなく演習用テキストを配布し使用します。

■ コンプリート 数学B・数学C

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学B・数学C (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行きましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で1時間程度)

授業テキスト内から2〜3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 確認テスト 15分 | 諸伝達 5分 | 講義 15分 | 演習 10分 |
| | | 講義 15分 | 演習 10分 |
| | | 解説 10分 | 解説 10分 |

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 1月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 授業内容 | 使用テキスト | 確認テスト |
|-----|---|---------------------------|-----------------------------|------------------|
| 3月 | ① | 【数B】 §7-5 漸化式と数列① [2] | 数学II B+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数B】 §7-6 漸化式と数列② | 数学II B+ベクトル(授業用) | §7-5 漸化式と数列① |
| | ③ | 【数B】 §7-7 数学的帰納法 | 数学II B+ベクトル(授業用) | §7-6 漸化式と数列② |
| 春期 | ① | — | — | — |
| | ② | — | — | — |
| | ③ | — | — | — |
| | ④ | — | — | — |
| 4月 | ① | 【数C】 §8-1 ベクトルの演算と成分 | 数学II B+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数C】 §8-2 ベクトルの内積 | 数学II B+ベクトル(授業用) | §8-1 ベクトルの演算と成分 |
| | ③ | 【数C】 §8-3 位置ベクトル | 数学II B+ベクトル(授業用) | §8-2 ベクトルの内積 |
| 5月 | ① | 【数C】 §8-4 ベクトル方程式 | 数学II B+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数C】 §8-5 平面ベクトルと平面図形 | 数学II B+ベクトル(授業用) | §8-4 ベクトル方程式 |
| | ③ | 広中杯演習① | 「広中杯演習」テキスト | §8-5 平面ベクトルと平面図形 |
| 6月 | ① | 広中杯演習② | 「広中杯演習」テキスト | — |
| | ② | 広中杯演習③ | 「広中杯演習」テキスト | — |
| | ③ | 広中杯演習④ | 「広中杯演習」テキスト | — |
| 7月 | ① | 【数C】 §8-6 空間ベクトル | 数学II B+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数C】 §8-7 空間ベクトルと空間図形 [1] | 数学II B+ベクトル(授業用) | §8-6 空間ベクトル |
| | ③ | 【数C】 §8-7 空間ベクトルと空間図形 [2] | 数学II B+ベクトル(授業用) | §8-7 空間ベクトルと空間図形 |
| 夏期 | ① | 【数C演習】 ベクトル① | 夏期テキスト | — |
| | ② | 【数C演習】 ベクトル② | 夏期テキスト | — |
| | ③ | 【数C演習】 ベクトル③ | 夏期テキスト | — |
| 9月 | ① | 【数I A演習】 数と式の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | — |
| | ② | 【数I A演習】 集合と論理の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 数と式の復習 |
| | ③ | 【数I A演習】 方程式の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 集合と論理の復習 |
| 10月 | ① | 【数I A演習】 場合の数の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 月例テスト |
| | ② | 【数I A演習】 2次関数の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 場合の数の復習 |
| | ③ | 【数I A演習】 確率の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 2次関数の復習 |
| 11月 | ① | 【数I A演習】 図形と計量の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 月例テスト |
| | ② | 【数I A演習】 平面図形の復習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 図形と計量の復習 |
| | ③ | 【数I A演習】 大学入学共通テストレベル演習 | 「数I A演習(9月～11月)」テキスト | 平面図形の復習 |
| 12月 | ① | ジュニア数学オリンピック本選演習① | 「ジュニア数学オリンピック本選演習(12月)」テキスト | — |
| | ② | ジュニア数学オリンピック本選演習② | 「ジュニア数学オリンピック本選演習(12月)」テキスト | — |
| | ③ | ジュニア数学オリンピック本選演習③ | 「ジュニア数学オリンピック本選演習(12月)」テキスト | — |
| 冬期 | ① | — | — | — |
| | ② | — | — | — |
| | ③ | — | — | — |
| | ④ | — | — | — |
| 1月 | ① | 【数A演習】 テーマ別演習① | 「数ABテーマ別演習(1月・2月)」テキスト | — |
| | ② | 【数A演習】 テーマ別演習② | 「数ABテーマ別演習(1月・2月)」テキスト | — |
| | ③ | 【数A演習】 テーマ別演習③ | 「数ABテーマ別演習(1月・2月)」テキスト | — |
| 2月 | ① | 【数B演習】 テーマ別演習① | 「数ABテーマ別演習(1月・2月)」テキスト | 月例テスト |
| | ② | 【数B演習】 テーマ別演習② | 「数ABテーマ別演習(1月・2月)」テキスト | — |
| | ③ | 【数B演習】 テーマ別演習③ | 「数ABテーマ別演習(1月・2月)」テキスト | — |

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中3数学TW α

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

中3終了時には概ね数学IIの学習が終わるカリキュラムです。各単元における頻出問題の定着にとどまらず融合問題も扱い、単元を超えた数学的視点を養うことで、発想力・記述力、解答力を向上させます。中3終了時に、大学入学共通テストレベルの数学II・Bで7割以上がとれる実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】

■ 数学IIB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。

■ 講習会テキスト(夏期・冬期講習会で使用)

講習会で使用する問題演習用のテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、講習会後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:講習会では既習分野の問題演習中心の授業になります。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また、詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ コンプリート 数学II

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学II (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で1時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2~3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは書き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 確認テスト 15分 | 諸伝達 5分 | 講義 15分 | 演習 10分 |
| | | 解説 10分 | 講義 15分 |
| | | 演習 10分 | 解説 10分 |

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 1ヶ月テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 授業内容 | 使用テキスト | 確認テスト |
|-----|---|--------------------------------|----------------|---------------------------|
| 3月 | ① | 【数Ⅰ】 §4-4 正弦定理・余弦定理 [2] | 数学ⅠA(授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅰ】 §4-5 三角形の面積 [1] | 数学ⅠA(授業用) | §4-4 正弦定理・余弦定理 [2] |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §4-5 三角形の面積 [2] | 数学ⅠA(授業用) | §4-5 三角形の面積 [1] |
| 春期 | ① | 【数Ⅱ】 §1-1 二項定理、多項式の除法と分数式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §1-2 恒等式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §1-1 二項定理、多項式の除法と分数式 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §1-3 等式の証明 / §1-4 不等式の証明① | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §1-2 恒等式 |
| | ④ | 【数Ⅱ】 §1-5 不等式の証明② | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §1-3 等式の証明 / §1-4 不等式の証明① |
| 4月 | ① | 【数Ⅱ】 §2-1 複素数と二次方程式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §2-2 解と係数の関係 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §2-1 複素数と二次方程式 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §2-3 剰余の定理・因数定理 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §2-2 解と係数の関係 |
| 5月 | ① | 【数Ⅱ】 §2-4 高次方程式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-1 座標平面上の点 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §2-4 高次方程式 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-2 直線の方程式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §3-1 座標平面上の点 |
| 6月 | ① | 【数Ⅱ】 §3-3 直線に関するいろいろな問題 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-4 円と直線① | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §3-3 直線に関するいろいろな問題 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-5 円と直線② | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §3-4 円と直線① |
| 7月 | ① | 【数Ⅱ】 §3-6 軌跡と方程式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-7 不等式の表す領域① | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §3-6 軌跡と方程式 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-8 不等式の表す領域② | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §3-7 不等式の表す領域① |
| 夏期 | ① | 【数Ⅱ演習】 複素数と方程式① | 夏期テキスト | — |
| | ② | 【数Ⅱ演習】 複素数と方程式② | 夏期テキスト | — |
| | ③ | 【数Ⅱ演習】 図形と方程式 | 夏期テキスト | — |
| 9月 | ① | 【数Ⅱ】 §4-1 弧度法・三角関数のグラフ | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §4-2 三角関数の方程式と不等式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §4-1 弧度法・三角関数のグラフ |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §4-3 加法定理 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §4-2 三角関数の方程式と不等式 |
| 10月 | ① | 【数Ⅱ】 §4-3 加法定理 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §4-4 加法定理の応用① | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §4-3 加法定理 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §4-5 加法定理の応用② | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §4-4 加法定理の応用① |
| 11月 | ① | 【数Ⅱ】 §5-1 指数の拡張 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §5-2 指数関数 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §5-1 指数の拡張 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §5-3 対数とその応用 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §5-2 指数関数 |
| 12月 | ① | 【数Ⅱ】 §5-4 対数関数 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §5-4 対数関数 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §5-4 対数関数 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §5-5 常用対数 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §5-4 対数関数 |
| 冬期 | ① | 【数Ⅱ演習】 図形と方程式 | 冬期テキスト | — |
| | ② | 【数Ⅱ演習】 三角関数① | 冬期テキスト | — |
| | ③ | 【数Ⅱ演習】 三角関数② | 冬期テキスト | — |
| | ④ | 【数Ⅱ演習】 指数対数 | 冬期テキスト | — |
| 1月 | ① | 【数Ⅱ】 §6-1 微分係数・導関数 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §6-2 接線の方程式 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §6-1 微分係数・導関数 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §6-3 関数の増減と極値 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §6-2 接線の方程式 |
| 2月 | ① | 【数Ⅱ】 §6-4 最大値と最小値 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §6-5 方程式と不等式への応用 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §6-4 最大値と最小値 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §6-6 不定積分と定積分 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §6-5 方程式と不等式への応用 |

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中3数学TWβ

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

主に数学B・Cの数列・ベクトルを扱います。冬期講習会以降は数学IIBの演習を行い、各単元における頻出問題の定着にとどまらず融合問題にも取り組むことで、単元を超えた数学的視点を養い、発想力・記述力・解答力を向上させます。

中3終了時に、大学入学共通テストレベルの数学IIBで7割以上がとれる実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】※講習会は別テキストです。

■ 数学IA(授業用)新版、数学IIB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。

■ 演習用テキスト

講習会以外の演習実施回では、メインテキストではなく演習用テキストを配布し使用します。

■ コンプリート 数学B、数学C

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学B、数学C

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習(1週間で1時間程度)

授業テキスト内から2~3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、答え合わせまでに行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し(1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | | | | | |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 確認テスト 15分 | 諸伝達 5分 | 講義 15分 | 演習 10分 | 解説 10分 | 講義 15分 | 演習 10分 | 解説 10分 |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 授業内容 | 使用テキスト | 確認テスト |
|-----|---|---------------------------|--------------------|-------------------|
| 3月 | ① | 【数A】 §7-2 独立な試行の確率 [2] | 数学ⅠA(授業用) | — |
| | ② | 【数A】 §7-3 条件付き確率 | 数学ⅠA(授業用) | §7-2 独立な試行の確率 [2] |
| | ③ | 【数A】 §7-4 期待値・分散 | 数学ⅠA(授業用) | §7-3 条件付き確率 |
| 春期 | ① | — | — | — |
| | ② | — | — | — |
| | ③ | — | — | — |
| | ④ | — | — | — |
| 4月 | ① | 【数B】 §7-1 等差数列 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数B】 §7-2 等比数列 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-1 等差数列 |
| | ③ | 【数B】 §7-3 和の記号Σと階差数列 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-2 等比数列 |
| 5月 | ① | 【数B】 §7-3 和の記号Σと階差数列 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数B】 §7-4 いろいろな数列 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-3 和の記号Σと階差数列 |
| | ③ | 【数B】 §7-4 いろいろな数列 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-4 いろいろな数列 |
| 6月 | ① | 【数B】 §7-5 漸化式と数列① [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数B】 §7-5 漸化式と数列① [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-5 漸化式と数列① |
| | ③ | 【数B】 §7-6 漸化式と数列② [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-5 漸化式と数列① |
| 7月 | ① | 【数B】 §7-6 漸化式と数列② [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数B】 §7-7 数学的帰納法 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-6 漸化式と数列② |
| | ③ | 【数B】 §7-7 数学的帰納法 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §7-7 数学的帰納法 |
| 夏期 | ① | 【数B演習】数列① | 夏期テキスト | — |
| | ② | 【数B演習】数列② | 夏期テキスト | — |
| | ③ | 【数B演習】数列③ | 夏期テキスト | — |
| 9月 | ① | 【数C】 §8-1 ベクトルの演算と成分 | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | — |
| | ② | 【数C】 §8-2 ベクトルの内積 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-1 ベクトルの演算と成分 |
| | ③ | 【数C】 §8-2 ベクトルの内積 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-2 ベクトルの内積 |
| 10月 | ① | 【数C】 §8-3 位置ベクトル [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数C】 §8-3 位置ベクトル [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-3 位置ベクトル |
| | ③ | 【数C】 §8-4 ベクトル方程式 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-3 位置ベクトル |
| 11月 | ① | 【数C】 §8-4 ベクトル方程式 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数C】 §8-5 平面ベクトルと平面図形 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-4 ベクトル方程式 |
| | ③ | 【数C】 §8-5 平面ベクトルと平面図形 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-5 平面ベクトルと平面図形 |
| 12月 | ① | 【数C】 §8-6 空間ベクトル | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数C】 §8-7 空間ベクトルと空間図形 [1] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-6 空間ベクトル |
| | ③ | 【数C】 §8-7 空間ベクトルと空間図形 [2] | 数学ⅡB+ベクトル(授業用) | §8-7 空間ベクトルと空間図形 |
| 冬期 | ① | 【数C演習】ベクトル① | 冬期テキスト | — |
| | ② | 【数C演習】ベクトル② | 冬期テキスト | — |
| | ③ | 【数C演習】ベクトル③ | 冬期テキスト | — |
| | ④ | 【数C演習】ベクトル④ | 冬期テキスト | — |
| 1月 | ① | 【数ⅠA演習】数と式の復習 | 「数ⅠA演習(1月・2月)」テキスト | — |
| | ② | 【数ⅠA演習】集合と論理の復習 | 「数ⅠA演習(1月・2月)」テキスト | — |
| | ③ | 【数ⅠA演習】方程式の復習 | 「数ⅠA演習(1月・2月)」テキスト | — |
| 2月 | ① | 【数ⅠA演習】場合の数の復習 | 「数ⅠA演習(1月・2月)」テキスト | 月例テスト |
| | ② | 【数ⅠA演習】2次関数の復習 | 「数ⅠA演習(1月・2月)」テキスト | — |
| | ③ | 【数ⅠA演習】確率の復習 | 「数ⅠA演習(1月・2月)」テキスト | — |

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中3数学S α 中高一貫

対象

難関国公立大学、早慶上智大をはじめとする難関私立大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

講座の目的

高校内容の数学Ⅱを中心に学習していき、各単元における基本事項をしっかりと定着させます。10月中旬に数学Ⅰを終わらせ、11月からは数学Ⅱに入っていきます。授業では頻出問題だけでなく入試問題も適宜扱っていくことで、得点につながる答案作成力を鍛えていきます。

中3終了時に、大学入学共通テストレベルの数学ⅠAで6割以上がとれる実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 数学ⅠA(授業用)新版、数学ⅡB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しなが、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。

■ コンプリート 数学Ⅰ、数学Ⅱ

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学Ⅰ、数学Ⅱ (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行きましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で1時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に解き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 確認テスト 15分 | 諸伝達 5分 | 講義 15分 | 演習 10分 |
| 解説 10分 | 講義 15分 | 演習 10分 | 解説 10分 |

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 授業内容 | 使用テキスト | 確認テスト |
|-----|---|----------------------------|-----------------|-----------------------|
| 3月 | ① | 【数Ⅰ】 §1-1 展開と因数分解 | 数学ⅠA (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅰ】 §1-2 実数/§1-3 対称式 | 数学ⅠA (授業用) | §1-1 展開と因数分解 |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §1-4 絶対値 | 数学ⅠA (授業用) | §1-2 実数/§1-3 対称式 |
| 春期 | ① | 【数Ⅰ演習】数と式① | 春期テキスト | — |
| | ② | 【数Ⅰ演習】数と式② | 春期テキスト | — |
| | ③ | 【数Ⅰ演習】集合と論理① | 春期テキスト | — |
| | ④ | 【数Ⅰ演習】集合と論理② | 春期テキスト | — |
| 4月 | ① | 【数Ⅰ】 §2-1 2次方程式の解の公式と判別式 | 数学ⅠA (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅰ】 §2-2 2次関数の基本 [1] | 数学ⅠA (授業用) | §2-1 2次方程式の解の公式と判別式 |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §2-2 2次関数の基本 [2] | 数学ⅠA (授業用) | §2-2 2次関数の基本 [1] |
| 5月 | ① | 【数Ⅰ】 §2-3 2次関数の最大・最小 [1] | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅰ】 §2-3 2次関数の最大・最小 [2] | 数学ⅠA (授業用) | §2-3 2次関数の最大・最小 [1] |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §2-3 2次関数の最大・最小 [3] | 数学ⅠA (授業用) | §2-3 2次関数の最大・最小 [2] |
| 6月 | ① | 【数Ⅰ】 §2-4 2次不等式 [1] | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅰ】 §2-4 2次不等式 [2] | 数学ⅠA (授業用) | §2-4 2次不等式 [1] |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §2-4 2次不等式 [3] | 数学ⅠA (授業用) | §2-4 2次不等式 [2] |
| 7月 | ① | 【数Ⅰ】 §2-5 2次方程式の解の配置 [1] | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅰ】 §2-5 2次方程式の解の配置 [2] | 数学ⅠA (授業用) | §2-5 2次方程式の解の配置 [1] |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §2-2:6 絶対値付きの関数のグラフ | 数学ⅠA (授業用) | §2-5 2次方程式の解の配置 [2] |
| 夏期 | ① | 【数Ⅰ演習】2次関数① | 夏期テキスト | — |
| | ② | 【数Ⅰ演習】2次関数② | 夏期テキスト | — |
| | ③ | 【数Ⅰ演習】2次関数③ | 夏期テキスト | — |
| 9月 | ① | 【数Ⅰ】 §4-1 三角比①(鋭角) | 数学ⅠA (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅰ】 §4-2 三角比②(一般角) [1] | 数学ⅠA (授業用) | §4-1 三角比①(鋭角) |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §4-2 三角比②(一般角) [2] | 数学ⅠA (授業用) | §4-2 三角比②(一般角) [1] |
| 10月 | ① | 【数Ⅰ】 §4-4 正弦定理・余弦定理 [1] | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅰ】 §4-4 正弦定理・余弦定理 [2] | 数学ⅠA (授業用) | §4-4 正弦定理・余弦定理 [1] |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §4-5 三角形の面積 | 数学ⅠA (授業用) | §4-4 正弦定理・余弦定理 [2] |
| 11月 | ① | 【数Ⅱ】 §4-1 弧度法・三角関数のグラフ | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §4-2 三角関数の方程式と不等式 [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-1 弧度法・三角関数のグラフ |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §4-2 三角関数の方程式と不等式 [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-2 三角関数の方程式と不等式 [1] |
| 12月 | ① | 【数Ⅱ】 §4-3 加法定理 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §4-4 加法定理の応用① [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-3 加法定理 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §4-4 加法定理の応用① [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §4-4 加法定理の応用① [1] |
| 冬期 | ① | 【数Ⅱ演習】三角比① | 冬期テキスト | — |
| | ② | 【数Ⅱ演習】三角比② | 冬期テキスト | — |
| | ③ | 【数Ⅱ演習】三角関数① | 冬期テキスト | — |
| | ④ | 【数Ⅱ演習】三角関数② | 冬期テキスト | — |
| 1月 | ① | 【数Ⅱ】 §3-1 座標平面上の点 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-2 直線の方程式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-1 座標平面上の点 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-3 直線に関するいろいろな問題 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-2 直線の方程式 |
| 2月 | ① | 【数Ⅱ】 §3-4 円と直線① [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §3-5 円と直線① [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-4 円と直線① [1] |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §3-5 円と直線② | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §3-5 円と直線① [2] |

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中3数学S β 中高一貫

対象

難関国立大学、早慶上智大をはじめとする難関私立大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

講座の目的

1学期は数学Aの場合の数、データの分析、2学期は整数の性質、図形を学習しつつ、さらに数学IIの学習に入っていきます。授業では頻出問題だけでなく入試問題も適宜扱っていくことで、得点につながる答案作成力を鍛えていきます。

中3終了時に、大学入学共通テストレベルの数学IAで6割以上がとれる実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 数学IA(授業用)新版、数学IIB+ベクトル(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返ししながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。

■ コンプリート 数学I、数学A、数学II

宿題や確認テストに使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学I、数学A、数学II (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行きましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で1時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まず一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやり直し (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題を授業ノートや解説で確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは書き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 確認テスト 15分 | 諸伝達 5分 | 講義 15分 | 演習 10分 |
| | | 講義 15分 | 演習 10分 |
| | | 解説 10分 | 解説 10分 |

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 授業内容 | 使用テキスト | 確認テスト |
|-----|---|--------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 3月 | ① | 【数Ⅰ】 §3-1 集合 | 数学ⅠA (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅰ】 §3-2 命題と条件 | 数学ⅠA (授業用) | §3-1 集合 |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §3-3 命題と証明 | 数学ⅠA (授業用) | §3-2 命題と条件 |
| 春期 | ① | — | — | — |
| | ② | — | — | — |
| | ③ | — | — | — |
| | ④ | — | — | — |
| 4月 | ① | 【数A】 §6-1 順列 | 数学ⅠA (授業用) | — |
| | ② | 【数A】 §6-2 組合せ [1] | 数学ⅠA (授業用) | §6-1 順列 |
| | ③ | 【数A】 §6-2 組合せ [2] | 数学ⅠA (授業用) | §6-2 組合せ |
| 5月 | ① | 【数A】 §6-3 円順列・数珠順列 | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数A】 §6-4 重複組合せ [1] | 数学ⅠA (授業用) | §6-3 円順列・数珠順列 |
| | ③ | 【数A】 §6-4 重複組合せ [2] | 数学ⅠA (授業用) | §6-4 重複組合せ |
| 6月 | ① | 【数A】 §7-1 確率 | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数A】 §7-2 独立な試行の確率 | 数学ⅠA (授業用) | §7-1 確率 |
| | ③ | 【数A】 §7-3 条件付き確率 | 数学ⅠA (授業用) | §7-2 独立な試行の確率 |
| 7月 | ① | 【数Ⅰ】 §5-1 データの整理と代表値 / §5-2 データの散らばり | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅰ】 §5-3 データの相関 | 数学ⅠA (授業用) | §5-1 データの整理と代表値 / §5-2 データの散らばり |
| | ③ | 【数Ⅰ】 §5-4 仮説検定 | 数学ⅠA (授業用) | §5-3 データの相関 |
| 夏期 | ① | 【数A演習】 場合の数 | 夏期テキスト | — |
| | ② | 【数A演習】 確率① | 夏期テキスト | — |
| | ③ | 【数A演習】 確率② | 夏期テキスト | — |
| 9月 | ① | 【数A】 §8-1 約数・倍数 [1] | 数学ⅠA (授業用) | — |
| | ② | 【数A】 §8-1 約数・倍数 [2] | 数学ⅠA (授業用) | §8-1 約数・倍数 [1] |
| | ③ | 【数A】 §8-2 不定方程式 [1] | 数学ⅠA (授業用) | §8-1 約数・倍数 [2] |
| 10月 | ① | 【数A】 §8-2 不定方程式 [2] | 数学ⅠA (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数A】 §8-3 剰余による分類 | 数学ⅠA (授業用) | §8-2 不定方程式 [2] |
| | ③ | 【数A】 §8-4 不等式と整数の問題 | 数学ⅠA (授業用) | §8-3 剰余による分類 |
| 11月 | ① | 【数Ⅱ】 §1-1 二項定理、多項式の除法と分数式 [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §1-1 二項定理、多項式の除法と分数式 [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §1-1 二項定理、多項式の除法と分数式 [1] |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §1-2 恒等式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §1-1 二項定理、多項式の除法と分数式 [2] |
| 12月 | ① | 【数Ⅱ】 §1-3 等式の証明 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §1-4 不等式の証明① | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §1-3 等式の証明 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §1-5 不等式の証明② | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §1-4 不等式の証明① |
| 冬期 | ① | 【数A】 図形：平行、相似、合同 | 冬期テキスト | — |
| | ② | 【数A】 図形：三角形 | 冬期テキスト | — |
| | ③ | 【数A】 図形：円 | 冬期テキスト | — |
| | ④ | 【数A】 図形：空間図形 | 冬期テキスト | — |
| 1月 | ① | 【数Ⅱ】 §2-1 複素数と2次方程式 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | — |
| | ② | 【数Ⅱ】 §2-2 解と係数の関係 | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §2-1 複素数と2次方程式 |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §2-3 剰余の定理・因数定理 [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §2-2 解と係数の関係 |
| 2月 | ① | 【数Ⅱ】 §2-3 剰余の定理・因数定理 [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | 月例テスト |
| | ② | 【数Ⅱ】 §2-4 高次方程式 [1] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §2-3 剰余の定理・因数定理 [2] |
| | ③ | 【数Ⅱ】 §2-4 高次方程式 [2] | 数学ⅡB+ベクトル (授業用) | §2-4 高次方程式 [1] |

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

国語科カリキュラム

中学1年～高校3年

国語科指導方針

● 中学入試で培った国語力の維持

中学入試の際に必死に学んだ国語。四字熟語や慣用句、漢字の知識はこれからの財産となるものです。しかしながら、昨今、日常生活で漢字を手で書くことの頻度は減りました。中学入試で培った国語力を風化させない、そのために国語の受講をおすすめします。「なあなあ」にせずに「ちゃんと」国語の学習をやり続ける、これがコンセプトです。授業内の制限時間内に問題を解くという習慣を絶やささない、ということが国語力維持に大きく貢献するはずで、英数で新しいことをたくさん学ばなければなりませんので、宿題は多く出します。負担を感じずに受講いただけます。中1から国語を開講している他塾は少ないので、併用も歓迎です。

● 教養の体得

単に大学入試に合格することだけを目指すのではなく、文化資本とも呼ぶべき国語教養を身につけることが目的です。授業内では現代文・古文・漢文の3分野をまんべんなく扱います。国語に関する知識を一段高い所から俯瞰的に学び、文章が書かれる意味・背景・ねらいを自身で理解できるようにします。教養が身につくことで、医学部をはじめとした入試で実施される面接での適切な受け答えや小論文の対策にもなります。

● 視野を広げる

東京大学をはじめとした最難関大学の入試には抽象度の高い文章が出題されます。自らの興味関心のみで焦点化した狭い視野では、入試に出題される文章を理解すること自体が難しく、それを簡潔明瞭に表現するという高いハードルを越えることは不可能です。中3では『寝ながら学べる構造主義』という本を1年間かけてじっくりと読書会のようなかたちで読み、掲載されている思想家についての理解を深めます。マルクス、フロイト、ニーチェなど、構造主義者というよりは20世紀の知性に大きな影響を及ぼした三人についてまずは概観し、ソシュール、フーコー、レヴィ=ストロース、ラカンについて学びます。私たちにとっては自明と思われることも、「ある時代のある時点から採用されている考え方だ」ということに触れる経験は、皆さんの成長にもつながります。

● 古典の暗唱

古文・漢文では有名作品や和歌の暗唱を通じて、国語表現の身体化を目指します。一見難しく感じられる評論文特有のことばを背景から、古文単語を語源から、漢文中の漢字を成り立ちから、楽しみながら学びます。「なんとなくわかる」という際の「なんとなく」にぴったり合うことばを与え、他者に伝えることばで表現できるようにします。

● 中2までの2年間で古典文法を学習

中1～2の2年間で古典文法をひと通り学習します。全貌を2年間でつかむことができるのは他塾にはないカリキュラムです。中3までで古典文法を2回学習することになるので、中3までに大学入試に必要な古典文法を習得することが可能です。

【6年間の流れ】

| | TW |
|----------|--|
| 中1 | 現代文は「論理トレーニング」を実施し、「何となく読む」状態からの脱却を目指します。論理を考え出し、論点をまとめ上げ、明快に記述する能力を養います。古文・漢文は有名作品の暗唱を行います。古文・漢文は有名作品の暗唱を行います。講習会で古文の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。 |
| 中2 | 現代文は共通テスト対策を実施します。資料を適切に読み取り、明快に記述する能力を養います。古文・漢文は有名作品の暗唱を引き続き行います。古文の授業では基本的な単語を語源から解説を行い、語彙力の基礎を築きます。講習会で古典の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。中2終了時で古典文法の学習は一通り終了します。 |
| 中3 | 現代文は構造主義の思想を学びます。東大を始めとする最難関大学受験において、有効に働く背景知識を身につけます。古文・漢文は有名作品の暗唱を引き続き行います。中3の1年間で、中1・2で学習した古典文法を総復習し、知識を完成させます。古文に関しては、1年間で1冊の単語帳を覚えきり、共通テストが難なく解ける水準にします。 |
| 高1 | 東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。 |
| 高2 高3 | 東大をはじめとした最難関大学の入試問題を演習します。添削指導によって、記述答案作成力をさらに洗練させ、総仕上げをします。 |

【ノート】

早稲アカ用のノートを1冊準備してください。

複数のノートを用意する必要はありませんが、宿題をやるときはどこからどこまでが宿題かわかるように記載してください。テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書だけでなく、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤・青・緑のペンをご用意ください。

【宿題の量】

中1・2のうち、宿題はほぼありません。古文・漢文の音読と暗唱を1週間に30分～1時間程度行ってください。月例テストの前は該当範囲の復習をして臨んでください。

中3では、中1・2に実施した古典の復習に時間を要しますので、毎週2時間程度宿題を課します。毎回の単語テスト準備も宿題とします。

①通常期：授業の復習（平均2時間）・各種テスト準備（平均1時間）／週×通常授業30回≒90時間程度

②長期休暇期間：春休み、GW、夏休み、冬休みで合計40時間程度

①+②で年間130時間程度の課題を出します。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

【読書の習慣化】

宿題はほとんどありませんが、読書習慣をつけるようにしてください。どんな本を読めば良い、という絶対的な基準はありません。自分の興味関心の視野を広げるために、ぜひ本を読んでください。多くの本を読めば、多くの表現に触れ、おのずと語彙や表現が身につきます。このようにして自然と養われた表現力は、記述式の問題で皆さんの得点を押し上げることに繋がります。

特に「源氏物語」「枕草子」「徒然草」「方丈記」「三国志」「水滸伝」「史記」など、代表的な古典作品を通読しておくのはおすすめです。原典で読むのは難しいですが、さまざまな現代語訳が出版されています。マンガもありますので、マンガで内容を掴むというのも良い方法です。非常時においては、感情的にならず、広いタイムスパンで目の前の出来事を客観的に観察することが必要です。そういう際に、古典を読むのは良いと思います。「方丈記」は嵐、火事、飢饉、洪水、疫病、遷都……など、京都の町を襲ったありとあらゆる天変地異について書かれたもので、「無常観」とはいかなる思想であるのかということを教えてください。

【テスト(中3)】

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|
| TWクラス選抜 | 7月、12月に実施します。TWクラスの受講には、この試験に合格する必要があります。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受講も可能です。目標点の目安は60点です。また、この試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。 | | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| 必修テスト | 記述型全国模試を6月、9月、11月、2月の年4回受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。 | | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| 月例テスト | 5月より指定月の初回冒頭20分間でチェックテストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。合格点は80点が目安です。 | | | | | | | | | | | | |
| | 実施月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |

中3国語TW

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

90分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※受講にはTWクラス選抜試験の合格が必要です

講座の目的

単に大学入試に合格することだけを目指すのではなく、文化資本とも呼ぶべき国語教養を身につけることが本講座の目的です。授業内では現代文・古文・漢文の3分野をまんべんなく扱います。国語に関する知識を一段高い所から俯瞰的に学び、文章が書かれる意味・背景・ねらいを自身で理解できるようにします。古文・漢文では有名作品や和歌の解釈及び鑑賞を通じて、国語表現の身体化を目指します。

文章を読んで「なんとなくわかる」というセンスとも呼ぶべき直観的な理解力と、その「なんとなく」にぴったり合うことばを与え、他者に伝わるように表現できる力の、一見矛盾するふたつの力の体得を目指します。

大学入学共通テストレベルの古文・漢文で7割以上がとれる実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中3国語TW(前期・後期)

メインテキストです。現代文は文章読解の背景となる構造主義について、古文は学校の教科書にも登場するような「有名古文作品の読解」、漢文は訓読法を学びながら「史伝の読解」を授業の中で扱います。現代文・古文・漢文の授業内容が毎月1回ずつ収録されています。

使用法

予習:不要です。

授業:現代文・文章の背景となる教養と論理を身につけることを目的とします。解説・説明の際に講師が行う板書は、テキストの該当部分もしくはノートに写してください。

古文・中2までに学んだ文法・単語知識をもとにして、多くの学校教科書に採用されている有名古文作品の読解を行います。講習会では文法の復習を行いつつ、百人一首の詳細な理解を目指します。

漢文・中2までに学んだ句法の知識をもとにして漢文思想の理解に踏み込みます。古文同様基本事項を学校での学習よりも早期に学べるので、学校の定期試験においてアドバンテージを得ることができます。

当月の内容を踏まえて次月に展開し、既出の単元は簡単な復習を行うのみで演習に入ります。ポイントを書き写したテキストを確認した状態で授業に臨んでください。

■ 寝ながら学べる構造主義 内田樹 文春新書

現代文の授業回に使用します。「構造主義」についてわかりやすくまとまっているので、常に座右に置いて参照してください。1年間かけてじっくりと読書会のようなかたちで読み、掲載されている思想家についての理解を深めます。マルクス、フロイト、ニーチェなど、構造主義者というよりは20世紀の知性に大きな影響を及ぼした三人については概観し、ソシュール、フーコー、レヴィ=ストロース、ラカンについて学びます。私たちににとっては自明と思われることも、ある時代のある時点から採用されている考え方だ、ということに触れる経験は皆さんの精神面の成長にもつながります。

■ 新版完全征服 合格古文単語380

古文単語帳です。月例テストの回以外はテストを実施します。テストの合格点は100点です。毎回のテストは試験範囲から20問出題されます。例文を暗記し、文脈に即した訳ができるように対策を講じてください。一つの単語に意味が一つだけ、ということは古文単語では稀ですので、全ての訳語を覚えてください。テスト実施後はサクセスダイアリーに得点を記載し、間違えた単語があった場合にはサクセスダイアリーに備忘録として反省欄に記すとともに、テキスト自体にも忘れずに印をつけておくようにしてください。

毎回のテストで100点をとるのはもちろんですが、定期的に見直しをして、忘れていないかをチェックしてください。古文単語を中3である程度わかるようにしておく、大きなアドバンテージになります。

【宿題】

古文単語テストの実施回は準備が宿題です。(1日10分/毎日)

現代文の回:授業内で扱った文章を3回通読し直し、理解を深めてください。文中のわからない言葉は辞書で調べ、ノートにまとめを作ってください。まとめたノートを講師がチェックします。(1週間に2時間程度)

古文の回:授業で扱った古文の暗唱が宿題です。暗唱ページを繰り返し声に出して読みましょう。また、授業内で取り上げた箇所の現代語訳も書き直しをしてください。月例テストに出題します。(1週間に2時間程度)

漢文の回:授業で扱った漢文を白文で読めるように、何度も書いてみてください。授業内で取り上げた例文の暗記も併せて行ってください。月例テストに出題します。(1週間に2時間程度)

月例テストに向けた復習:月例テストは現代文・古文・漢文から出題されます。上記で課された宿題を中心に復習をしてテストに臨んでください。

【授業進行例(通常授業)】

| | | | |
|--------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 0 | 30 | 60 | 90 |
| 確認テスト 5分 | 採点確認 5分 | 諸伝達 5分 | 導入 20分 |
| | | 演習 20分 | 解説 35分 |

・クラスの数や理解度等によって多少変更されることがあります。ご了承ください。・暗唱テストの回はテスト時間が長くなります。

【カリキュラム】

| 月 | 回 | 単元 | 内容 | 古文単語テスト |
|-----|---|----------------|-------------------|-------------------------|
| 3月 | ① | 【現代文】論理トレーニング① | 共通テスト対策 | — |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究① | 『宇治拾遺物語』① | — |
| | ③ | 【漢文】故事成語研究① | 『知音』 | — |
| 春期 | ① | 【現代文】読解の復習 | 評論文読解など | — |
| | ② | 【古文】中2古文文法まとめ | 用言・助動詞・助詞・敬語 | — |
| | ③ | 【古文】百人一首の鑑賞 | 61番～100番 | — |
| | ④ | 【漢文】中2漢文句法まとめ | 使役・受身・否定・疑問など | — |
| 4月 | ① | 【現代文】構造主義① | 概論およびマルクスについて | 春期課題確認(漢文句法) |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究② | 『宇治拾遺物語』② | 1-20 |
| | ③ | 【漢文】故事成語研究② | 『雑説』 | 21-40 |
| 5月 | ① | 【現代文】構造主義② | フロイトなど | 月例テスト |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究③ | 『徒然草』① | 41-60 |
| | ③ | 【漢文】故事成語研究③ | 『漁父辞』① | 61-80 |
| 6月 | ① | 【現代文】構造主義③ | ニーチェなど | 月例テスト |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究④ | 『徒然草』② | 81-100 |
| | ③ | 【漢文】故事成語研究④ | 『漁父辞』② | 101-120 |
| 7月 | ① | 【現代文】構造主義④ | ソシュールなど | 月例テスト |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究⑤ | 『蜻蛉日記』 | 121-140 |
| | ③ | 【漢文】故事成語研究⑤ | 『五柳先生伝』 | 141-160 |
| 夏期 | ① | 【古文】識別① | 「ぬ」「ね」「なむ(なん)」の識別 | — |
| | ② | 【古文】識別② | 「なり」「に」の識別 | — |
| | ③ | 【漢文】論語 | 思想の理解 | — |
| 9月 | ① | 【現代文】論理トレーニング② | 共通テスト対策など | 夏期課題確認(敬語)／1-160 |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究⑥ | 『紫式部日記』① | 161-180 |
| | ③ | 【漢文】故事成語研究⑥ | 『十八史略』①「管鮑之交」 | 181-200 |
| 10月 | ① | 【現代文】構造主義⑤ | フーコーなど | 月例テスト |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究⑦ | 『紫式部日記』② | 201-220 |
| | ③ | 【漢文】故事成語研究⑦ | 『十八史略』②「完璧」 | 221-240 |
| 11月 | ① | 【現代文】構造主義⑥ | バルトなど | 月例テスト |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究⑧ | 『源氏物語』① | 241-260 |
| | ③ | 【漢文】史書研究① | 『史記』① | 261-280 |
| 12月 | ① | 【現代文】構造主義⑦ | レヴィ=ストロースなど | 月例テスト |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究⑨ | 『源氏物語』② | 281-300 |
| | ③ | 【漢文】史書研究② | 『史記』② | 301-320 |
| 冬期 | ① | 【古文】古文文法まとめ① | 用言・助動詞 | — |
| | ② | 【古文】古文文法まとめ② | 助詞・敬語 | — |
| | ③ | 【漢文】史伝の読解① | 『史記』「鴻門之会」「四面楚歌」 | — |
| | ④ | 【漢文】史伝の読解② | 『三国志』 | — |
| 1月 | ① | 【現代文】論理トレーニング③ | 共通テスト対策など | 冬期課題確認(古文文法全範囲)／161-320 |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究⑩ | 『和泉式部日記』 | 321-340 |
| | ③ | 【漢文】有名作品の読解 | 『春夜宴桃李園序』 | 341-360 |
| 2月 | ① | 【現代文】構造主義⑧ | ラカンなど | 月例テスト |
| | ② | 【古文】有名古文作品研究⑪ | 『玉勝間』 | 361-380 |
| | ③ | 【漢文】漢詩 | 「登高」など | 1-380 |

※上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。 ※個人別の課題を設定する場合があります。

【受講にあたってのご案内】

クラス分け

選抜クラス(TWクラス・Tクラス)に関しては、中1～高1生は「TW/Tクラス選抜試験」、高2生は「東大水準模試」および理科TWクラス選抜試験、高3生は「東大必勝模試」および理社TWクラス選抜試験の結果により受講資格が与えられます。これらの試験は7月と12月に実施され、それぞれ後期(9月～翌年2月)と前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します(※)。

SKクラス(1組・2組)・Rクラス(高3のみ)に関しては、必修テストの結果に応じてクラス分けを行います。2月・6月のテストで後期(9月～翌年2月)、9月・11月の必修テストで前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します。

※高3「東大必勝模試」は6月・9月の実施です。

月例テスト

解答用紙を実施前月の月末発送物で送付します。対面参加生は送付されたものを月例テスト実施日に持参してください。問題用紙につきましては、対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に公開された問題を見てテストを行います。

いずれの学年も、Zoom参加生は解答用紙を「早稲田アカデミーEAST」アプリを使用して、テスト当日の22時までに提出してください。また、実施後には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に解答を公開しますので、復習にご活用ください。

採点後の答えは、対面参加生には授業で直接返却し、Zoom参加生は「早稲田アカデミーEAST」での返却および月末(※)の発送物にて送付します。

※「早稲田アカデミーEAST」アプリで提出された答案に関しては、翌月末の発送物での送付となるケースがあります。ご了承ください。

確認テスト

対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は画面共有でテストを行います。

翌月上旬には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に問題・解答を公開しますので、復習にご活用ください。

早稲田アカデミーEAST(アプリ)

月例テストの解答用紙や英語TW Boosterクラスの課題の提出に使用するアプリです。「早稲田アカデミーEAST」のアプリをダウンロードし、ホームページに掲載されている「スタートアップガイド」に従って解答用紙などの提出を行ってください。

早稲田アカデミーOnline(アプリ)

早稲田アカデミーが提供するさまざまなICTサービスを利用するための、オリジナルポータルサービスです。授業スケジュールの確認、遅刻や欠席の連絡、「双方向Web授業」や「学習コンテンツ」へのアクセスができるほか、各種お申し込みや請求支払い状況の照会などの機能を搭載しています。「お知らせ」には、時間割や保護者会のご案内など、重要なお知らせを配信します。

アプリのインストールおよびアカウント作成についての詳細は、ご入塾の際に配布している案内をご確認ください。

振替制度

同じクラス名の授業を他校舎にて振替出席することが可能です。事前に所属校舎までお申し出ください。校舎によって授業実施曜日が異なりますので、早稲田アカデミーOnlineに掲載されている年間カレンダーにて授業スケジュールをご確認いただき、授業回数が異なってしまわないようご注意ください。

教材の購入方法

テキスト使用予定約1か月前から早稲田アカデミーOnlineにてテキストが購入できるようになります。

購入が必要な時期(※)に「教材のご案内」を配布いたします。購入に必要な各教材の「教材コード」などが記載されておりますので、そちらを参照してご購入いただけます。

また、受講していない講座や、他学年の物などを含め時期が異なる教材の購入も可能です。購入をお考えの教材内容に関しては校舎までお問い合わせください。

※テキストの切り替わる時期に関しては各科目のカリキュラムのページをご確認ください。

サクセスタイムズ(毎月のお知らせ)

毎月の営業日時・休講日・模試・イベント等のご案内は、早稲田アカデミーOnlineに「サクセスタイムズ」を掲載させていただきますのでご確認ください。

ご不明点などございましたら所属校舎までお問い合わせください。

配布物ファイル

お知らせ等の配布物は授業時にクリアファイルに入れて配付いたします。授業中に配付しますので、中身を受け取り後、ファイルを授業担当講師へ返却してください。

授業がZoomでの参加のみ等の理由で直接お渡しできていない方に関しては、当月末の発送物にて送付します。

事務受付時間

通常営業日 平日・土曜 13:00～19:30

講習会期間 9:00～19:00

※日曜日の営業日時や受付時間変更などに関しては、毎月早稲田アカデミーOnlineに掲載される「サクセスタイムズ」をご参照ください。

自習室の利用

通常営業日 平日・土曜 13:00～21:30

講習会期間 8:30～20:00

※利用時間や利用可能日を変更させていただく場合がございます。変更がある場合は、早稲田アカデミーOnlineにてご案内いたします。

SYLLABUS 2026

[中学3年生コース]

 **早稲田アカデミー 大学受験部**